



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
090
2095-5792
三浦とおる
090
1019-8791

「社会福祉国家」めざし新しい政治を！

－共産党市議団が一般質問（11日予定）－

- 9月議会 質問項目 岡野長寿
- 市長の政治姿勢について
 - 核兵器禁止条約を政府が署名・批准する立場に立つよう、いかなる取り組みをするか。
 - 医療・保健、福祉行政など、新自由主義的政策でなく、憲法のめざす社会福祉国家実現のため、これまでの政策を再点検するか。
 - 少人数学級について
 - 安心・安全な少人数学級を実現するために、尾道市が行っていること、これから行おうとしていること、国や県に要望しようとしていることは何か。
 - 授業を詰め込み過ぎず、仲間との学びと豊かな学校生活を保障するために、尾道市が行っていること、これから行おうとしていること、国や県に要望しようとしていることは何か。
 - 特別教室・体育館へのエアコン設置について
 - 特別教室へエアコンを設置するか。
 - 体育館へエアコンを設置するか。
 - 中学校給食について
 - 全員給食への改善計画はどうなっているか。
 - 教科書選定について
 - 教科書選定会議は今後公開すべきではないか。
 - いつから非公開とされたのか。
 - 憲法の基本原則に反する疑いがもたれるような教科書は採択されないよう求めるが、見解はどうか。
 - 土堂小の耐震化について
 - 現地での存続を前提とする方針を樹立すべきではないか。
 - 橋代軽減について
 - 橋代軽減の要望活動はいつするか。
 - 市独自の軽減策を実施すべきではないか。

岡野長寿市議は、市長の政治姿勢について、①ヒロシマの政治願である核廃絶をいかに進めるか、②コロナ禍により顕在化する、医療・保健・福祉・教育予算の削減路線から転換し、社会福祉国家理念の下、いかに住民の暮らし・福祉を守っていくかを質します。

各論では、OECD加盟国の中で教育費への予算配分が最も低く、コロナ禍、気象変動の中で子どもたちが生き生きと安心して学校生活を送れるよう改善を求めます。

また、デリバリー方式に頼って、いたる方から脱却し、中学校の全員給食への計画が8月中旬に具体的計画を示すことから、その具体的計画の公開、市民の願を教科書選定の公開、市民の願を学校の在り方、島嶼部の橋代軽減に具体策を求めます。

まず30人学級を実現し、20人程度のクラス編成へと改善をするため、猛暑の中での授業を切り替えるために、美術教室など特別教室へもエアコンの設置を断然し計画を立てること、避難所となる体育館へのエアコン設置も計画することを求めます。

9月7日から9月議会が始まり、一般質問は9日、11日に予定されています。共産党市議団は11日（金曜）の午前中、11時頃から三浦とおる、岡野長寿の順に、それぞれ20分の質問時間をつかって一般質問を行います。

9月議会質問項目 三浦とおる

三浦市議は、PCR検査を中心とした、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から質問を行います。

多くの市民の皆さんの中には、PCR検査を受けることができないのかわからない方も多いのが現状です。今後、広島県による「唾液による検査」も始まり、市民の具体的な内容は、市民の皆さんに伝わっていません。

PCR検査の在り方と今後の手順、さらに尾道市独自のPCR検査を東京の世田谷区のように行っていくかどうか。また、介護職員、保育、教育関係者にPCR検査を行うべきか。

※尾道市民がコロナウイルスに感染したのではないかと感じられた場合、どのような手順でPCR検査を受けることができるのか。

①PCR検査を受けるための手順について説明を求める。
②現在、広島県は唾液検査を行う医院を募集おり、9月半ばから検査を実施する予定だが、この検査方法が始まった場合どのような制度になるのか。

※自治体によっては、独自でPCR検査を行っている自治体もあるが、尾道市で独自に行う予定があるか。

①尾道市では「市独自のPCR検査実施」は行われていません。東京都の世田谷区ではPCR検査について「いつでも誰でも何度でも」をスローガンに区民に安心をもたらしている。尾道市独自のPCR検査を行っていく予定があるか？
②新型コロナウイルス感染拡大防止のために最前線で働いている医療関係者の方々、クラスター発生の危険性のある介護関係職員、保育、教育関係職員の方々には、感染症拡大防止の観点から市独自で早急にPCR検査を行えるようにしていくべきであると考えますが、尾道市としてどのように考えているか。

※その他、コロナ療養施設関係、介護施設関連、教育関連で質していきます